

地震の歴史と教訓

～1891 濃尾地震～

明治24年1月
濃尾平野に
地震のエネルギー
の死者を出

■ 熱田区における震災の爪痕



「明治廿四年十月廿八日大地震図」名古屋市博物館所蔵



「The Great Earthquake in JAPAN, 1891」

【尾張紡績の悲劇】

名古屋市内の死傷者が384名に上るなかで、熱田区の被害は大きく、熱田停車場、大規模工場をはじめほとんどの建物が倒壊したと言われています。とりわけ、熱田区尾頭町で操業していた尾張紡績の工場では、日勤と夜勤の交代する時間帯に地震が発生し、160名近い死傷者が出ました。

～当時の記録より～

三階にある櫓が轟然と鳴り倒れ二階に落ち込み、さらさらと職員の悲鳴が四方に響き渡った。事務員等も大勢出たのを見ているしか～「濃尾震誌」より 口語訳、内

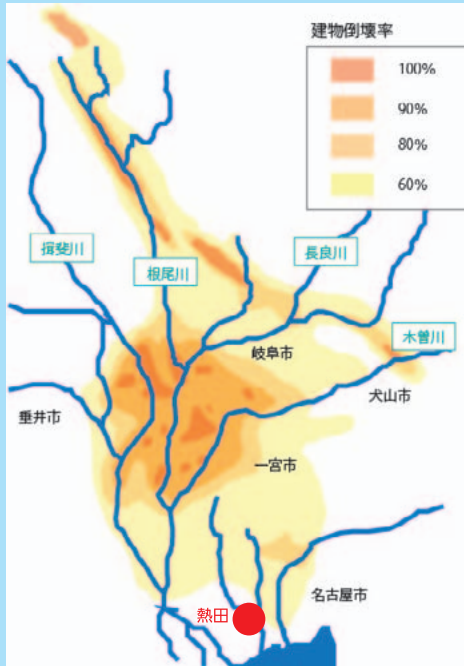
■ 10月28日午前6時38分、現在の岐阜県本巣市を震源とする大地震が発生し、
に甚大な被害を与えました。

エネルギーを示すマグニチュードは8.0、名古屋も強烈な揺れに見舞われ、7,273名
出するなど、日本の内陸で起きた地震で最大級の規模といわれています。

■ 広範にわたる建物被害



AN,1891]名古屋市鶴舞中央図書館所蔵



震源地から50km離れた**名古屋市の一部でも80%の建物が倒壊**しました。

尾張地方の多くは60%以上もの建物が倒壊するなど甚大な被害を受け、**もともと海だった濃尾平野**の地震被害リスクが認識されるようになりました。

■ 南海トラフ巨大地震

今後30年間で70%の確率で発生が懸念される南海トラフ巨大地震への備えが重要です。

名古屋市の被害想定



※黄色の文字は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の被害想定。他は「過去の地震を考慮した最大クラス」の被害想定。

り〜

鳴り響き、…中略…梁が
さらに一階にまで達する
響き、すさまじい惨状を
等もおびただしい死傷
しかなかった。

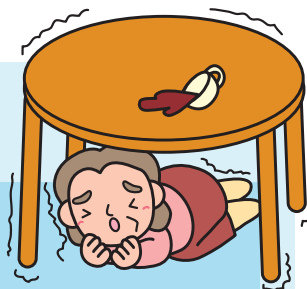
、内容抜粋〜

【状況別】地震発生時の対応方法

居間や寝室…

家具やテレビなどが倒れたり、飛んだりします。
また、ドアが開かなくなることがあります。

- ・倒れそうな家具から離れ、机の下に潜り身を守る!
- ・ガラスの破片など、足元に注意!
- ・ドアや窓を開けて脱出路確保!
- ・通電火災を防ぐため、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切ってから避難!



台所…

火事になることがあります。

- ・可能ならコンロの火を消す!(震度5で自動停止)
無理なら揺れがおさまってから消火確認!
- ・やけどの危険があれば、すぐにその場から離れる!



商業施設・娯楽施設…

商品などの転倒や移動、天井材や照明が落下する可能性があります。

- ・商品棚などから離れ、頭をかばい、身を守る!
- ・係員の指示に従い、冷静に行動!
- ・エレベーターは使用しない!

コラム 災害発生時に冷静に行動するには…

突如として大災害に遭遇すると冷静に行動することは困難です。

人間は、災害に遭遇すると心理的なショックを緩和するため、目前に危機が迫るまで起こっている状況を認めない心理状態となります。こうした状況に陥ると、パニックになる以前に、放心するなど肉体的な行動に必要な神経の機能が低下するため、冷静に行動できる人の割合は10～15%程度まで低減と言われています。

震度7クラスの揺れに見舞われると、ただでさえ物理的に動くことができないうえに心理的にも動けなくなることから、迅速な避難行動に移ることが困難となります。

こうした状況に陥らないためには、意識的に大声を出すなどして知覚を復旧させることが効果的であるといわれています。

名古屋市の取り組み

助け合いの仕組みづくり

災害時に近隣住民相互の助け合いにより、安否確認や救出、避難誘導が速やかにできるよう地域で備えるための「助け合いの仕組みづくり」を推進しています。

また、既に取り組んでいる町内会に対して、安否確認訓練の実施など支援を行っています。



避難行動計画策定支援事業

大規模な地震が起きたとき、住民の皆さまが安全で適切な避難行動が取れるような地域特性に応じたマップ制作を通じて、地域における避難行動計画づくりを支援しています。

完成したマップは、発災時における実際の避難のほか訓練等で活用します。



備蓄物資の増強

名古屋市震災対策実施計画に基づき、食糧及び生活必需品等の備蓄物資を計画的に充実・強化しています。



地震に備えて各自で備蓄をすすめましょう!

食糧7日分(うち持出用は3日分)、飲料水3日分(1人9ℓ)が目安!

地域で行われる防災訓練に参加しましょう!

制作・問合せ先: 熱田区役所 総務課

TEL: 052-683-9411 FAX: 052-682-1496

E-mail: a6839411@atsuta.city.nagoya.lg.jp



平成29年3月発行

この資料には再生紙を使用しています。